

与那国島からはじまる 日本列島

黒潮の流れに沿って南から北へと連なる日本列島。
その入り口となる与那国島を起点として、自然環境
や文化の特徴、繋がりを学際的に論じます。

入場無料 日時：2020年1月11日（土）
13:00～17:30

場所：九州大学 椎木講堂 大ホール



招待講演 藤崎 慎吾（作家）
"最も神高い島" 与那国

1. 日本列島へ向かう黒潮 – サングが記録するその変動
平林 頌子（九州大学・学振PD）
2. 黒潮が洗う与那国島の多様かつ壮大な海底地形
菅 浩伸（九州大学）
3. 黒潮がもたらす沖縄の水圏生物の多様性
藤田 喜久（沖縄県立芸術大学）
4. 海を渡る虫たち – 小さな冒険者の脅威の分散力 –
荒谷 邦雄（九州大学）
5. 海を渡った人類と渡難（どうなん）の島の考古学
片桐 千亜紀（沖縄県埋蔵文化財センター）
6. 「3万年前の航海」体験記 – こうやって黒潮を越えた！ –
村松 稔（与那国町）

主催：九州大学 浅海底フロンティア研究センター
共催：九州大学大学院 地球社会統合科学府
後援：福岡市、糸島市、与那国町
与那国町教育委員会

RESEARCH CENTER FOR
Coastal Seafloor

KYUSHU UNIVERSITY



地球社会統合科学府
Graduate School of Integrated Sciences for Global society

浅海底フロンティア研究センター
イメージキャラクター

浅海底の探検家 マンタポーロ

